

令和6年度

事業報告

社会福祉法人 大山崎町社会福祉協議会

目 次

■ 組織概要

職員体制		2P
中期計画評価シート		3P

■ 各部署

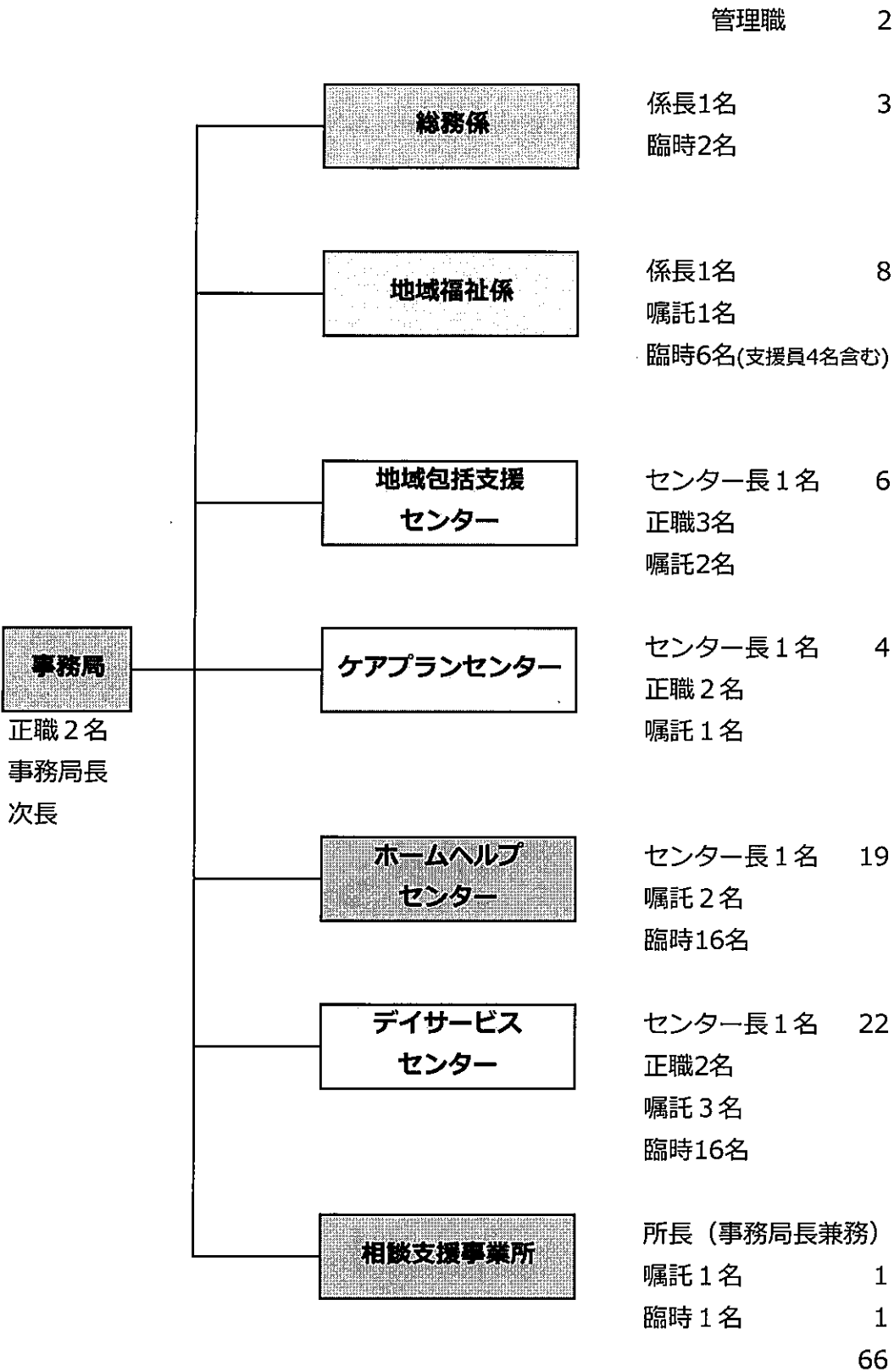
1.総務係		5P
2.地域福祉係		10P
3.地域包括支援センター		16P
4.ケアプランセンター		23P
5.デイサービスセンター		25P
6.ホームヘルプセンター		27P
7.障がい者相談支援事業所		29P

■ その他

職員外部研修		28P
--------	-------	-----

職員体制

(令和7年3月31日現在)



第 1 四半期職員数

正職員	16
嘱託職員	10
臨時職員	44
合計	70

第 2 四半期職員数

正職員	16
嘱託職員	10
臨時職員	41
合計	67

第3四半期職員数

正職員	16
嘱託職員	10
臨時職員	41
合計	67

第4四半期職員数

正職員	15
嘱託職員	10
臨時職員	41
合計	66

令和6年度事業計画における第4四半期評価

令和4～6年度 3か年 法人中期計画基本理念 「一人ひとりが尊厳と幸せを感じるおおやまざきをつくる」



令和6年度 事業計画重点目標

- | |
|--|
| ①中期計画最終年となるので、「利用者」・「地域」・「人材」・「経営」の各領域で自部署に関わる部分の実行と、全体への主体的かつ自律的な参加及び支援を行う。 |
| ②社協は地域福祉に貢献しなければならない。地域福祉への貢献総量である社協サービス利用量の成長を通じて、より多くの地域貢献につなげる。 |
| ③社協は地域福祉に貢献しなければならない。そのためには地域に満足していただかなければならない。地域の満足を得るためには、職員が持てる力を十分に発揮し職員の満足度を高めなければならない。このような循環を構築するために、職員の心理的安全性を確保できる組織風土をつくる。 |

①に対する評価

本会不祥事による外部第三者委員会が2月に終了。令和7年度から提言に基づく組織改善を開始するため、3月から「利用者」および「地域」の領域では「事業改善計画作成プロジェクトチーム」を立ち上げ、具体的な改善を始めている。「人材」領域においては「研修プロジェクトチーム」立ち上げ、研修体制の見直しを行い、反復した研修を実施している。また「衛生委員会」に精神科の産業医を迎え、メンタルサポート支援体制を強化している。「経営」領域ではデイ部門において町内CMと利用者及び家族へのアンケート結果から「業績改善計画」を作成し実施し始めている。令和7年度に向けてデイにおいて大幅な人事強化を行い、更に業績改善を推し進めている。これらの法人の流れの中で職員は自部署だけでなく、全体の利益を考えながら自律的にかつ積極的にプロジェクトに参加している。このような姿勢の職員が多くいることが第1次中期計画の成果と判断している。

②に対する評価

町内において社協の福祉サービスの利用量が増加しているのが、ホームヘルプ部門である。介護保険・障がい共に町内唯一の事業所である強みを活かし、また自費サービスの開始等で利用者ニーズに応えることによって利用実績を上げている。ケアプラン部門は利用量はほぼ現状維持、人件費の圧縮と業務の効率化により収支は改善している。デイにおいては実登録人数は維持しているものの、新規利用者は週1～2利用、利用中止者は週3～5利用の傾向があり、その利用回数差のため総量としては減少している。今後はデイの総量を増大していくことが課題となっている。事業部門以外の福祉サービス利用量では、地域福祉権利擁護事業において利用者増、特例貸付のフォローアップ事業の開始等において地域貢献を果たしている。

③に対する評価

①に記載のとおり不祥事からの改善における様々なプロジェクトの開始により、「地域の満足を得る」という点にどこまで応えていけるかが課題となる。「職員が持てる力を発揮する」とことと「心理的安全性を確保できる組織づくり」という点でも①に記載のとおりメンタルサポート支援を開始したところである。評価は今後になる見通し。
--

中期計画評価シート

計画理念			評価指標	進捗状況	旗振り役
一人ひとりが尊厳と幸せを感じる おおやまぎをつくる		①利用者を支える法人内 ネットワーク化の促進	法人内事例検討会	4回実施	ケアプランセンター
			デイ利用者との共同事業	利用者が主体的に参加する共同事業 までには至らず	デイサービスセンター 地域福祉係
			満足度調査	デイサービスで実施	対象各部署
			第3者評価の受検	準備体制整わず受検せず	対象各部署
	地域	①社協サテライトをつくる	モデル事業の可否	環境要因・人員体制から次 期計画課題へ	サテライトプロジェクト チーム(4～5名・課長会 議選出)
			認知度調査	地域福祉計画での認知度調査	総務係
		②大山崎町社協の認知度向 上	会員数調査	日赤・社協会費・共済の 一括実施を優先	
			明るいサポート店との連携強化	祭り等の協賛拡大	
		③働く世代にも対応した福 祉サービスの提供	多様な時間帯イベント開催 数	Zoomでお話会 フードパントリー なごみきっちゃん	地域福祉係
	人材	①法人のキャリアパスを意識した研 修受講の促進	研修受講数	正職員 中級受講	総務係
		②資格取得助成の促進	報告完了数	主任CM2名 相談初任者1名 CM更新2名	総務係
		③職員面談の継続実施	面談及びフィードバック状 況	管理職面談の実施	総務係
		④自己実現が共有できるよ うな面談への発展	新たな面談システムの実施 状況	事業課 定期面談と満足疲 労調査の試験実施	総務係
		⑤働き方改革による多様な 雇用形態の実現	独自雇用形態実施の評価	役職定年・再雇用の 制度化検討中	総務係
		①純利益を意識した安定し た財政基盤	各部署の実績額及び運転資金3か月分 の確保を評価・580万円/年)	3年で1291万円積立 430万円/年	事業課
		②中期計画の評価	6か月に1度の評達成度(目 標達成度評価)	令和6年1月 中間点評価	中期計画策定チー ム
		③各センター長による財務 管理の促進	予算及び実績管理状況を評 価	管理職会議での実績管理 各センター長による予算作成	課長以上
		④社労士・会計士・介護保 険行政等との定例的な連携 維持	現状の維持体制を評価(社 会保険労務士)	第1・3木曜日定期開催	総務係
			現状の維持体制を評価(会 計士等)	1回/3か月定期開催	総務係
			現状の維持体制を評価(介 護保険行政)	地域包括・ 行政連絡会議/月	各部署
		⑤BCP計画・虐待委員会、 苦情対応・事故対応・ヒヤ リハットの法人共有システ ム化	BCP計画	令和6年4月～	各部署リスクマネ ジメント担当者を 選出
			虐待委員会	令和6年4月～	
			苦情・事故対応	令和6年1月～	
			ヒヤリハット共有	一部実施中	
		⑥理事会・評議員会・三役 会・定例監査の継続	理事会	5・9・3月開催	総務係
			評議員会	6・3月開催	
			三役会	毎月開催	
			定例監査	4・8・2月開催	

総務係

1. 事業内容

指定管理、労務管理、人事管理、経営管理及び法人の意思決定にかかる部分を担う。

2. 職員体制

係長、正職員 1 名、臨時 2 名

3. 6年度目標

- 柔軟な発想とガバナンス強化による組織運営と法人運営【運営・経営】
- 職員同士の連携・協働により、個性や専門性を発揮し、共に達成感を感じる事ができる職場環境づくり【職場環境】
- 人、地域とのつながりを大切にできる開かれた組織づくり【地域との関係】
- 中長期計画の進捗状況の管理、未着手指標の実施

4. 第4四半期までの進捗状況

中長期計画作成完了

研修プロジェクトチーム立ち上げ

業務改善計画プロジェクトチーム立ち上げ 業務改善計画策定済

5. 現状課題

業務改善計画の進捗管理と評価

- 各プロジェクトチームの立ち上げによる、チーム同士やセンター長との連携の仕組み作り
- 各プロジェクトチーム立ち上げ等により、各部署へのフォローまで行き届かない

6. 今後の取り組み

6年度目標において経営・運営領域および職場環境領域で、事業改善計画作成チーム、研修プロジェクトチームを立ち上げ、計画作成したこと。法人の第二期中長期計画を作成したこと。衛生委員会に産業医を招いて職員のメンタルサポート体制を強化したこと等で、一定の成果を上げた」と判断している。今後はこれらの計画の進捗状況の管理と評価が課題となる。地域との関係領域では会費・赤十字・共募の住民負担軽減を実施し、広報戦略チームを立ち上げ地域や関係機関への情報発信の改善に取り組むことができたが、会員数の減少が進行している。今後は地域福祉係と連携を図りながら更に地域住民の方々へ社協の存在意義を伝えていくことが課題となる。

■法人運営事業

(それぞれの部署が業務を効率よく実施するために、人材確保や収支の管理運営を行う)

・三役会

(正副会長及び事務局長との定例会議・毎月実施)

4/23、5/21、6/17、7/23、8/23、9/30、10/22、11/26、12/17、1/20、2/19、3/18

・定例監査

(予算の執行、収支、財産管理の業務や事業が適正に行われているか、年4回定期的に実施する監査)

5月27日 9月9日 12月3日 3月3日

・理事会

(事務局から事業の報告を行い、運営方針や予算などの意思決定を行う)

6月3日	【第14号議案】令和5年度 事業報告及び決算に関する件
	【第15号議案】経理規程の一部改正に関する件
	【第16号議案】会長専決に関する規程の一部改正に関する件
	【第17号議案】補欠役員（理事）の選任案に関する件
	【第18号議案】評議員交代選任に関する件
	【第19号議案】評議員選任・解任委員会の収集に関する件
	【第20号議案】評議員会の召集に関する件
9月27日	【第21号議案】給与規程の一部改正に関する件
	【第22号議案】嘱託職員就業規則の一部改正に関する件
	【第23号議案】臨時職員就業規則の一部改正に関する件
	令和6年9月20日発生の本会職員の逮捕に関する件
12月17日	【第24号議案】経理規程の一部改正に関する件 ----- 本会職員の不祥事案に関する件の経過報告について
3月11日	【第25号議案】第二期中長期計画の策定に関する件
	【第26号議案】育児・介護休業等に関する規則の一部改正に関する件
	【第27号議案】給与規程の一部改正に関する件
	【第28号議案】嘱託職員就業規則の一部改正に関する件
	【第29号議案】臨時職員就業規則の一部改正に関する件
	【第30号議案】令和7年度事業計画（案）に関する件
	【第31号議案】令和7年度予算（案）に関する件
	【第32号議案】評議員会の招集に関する件

・評議委員会

(事務局から事業の報告を行い、決算の承認、役員等の選任、解任、役員報酬の決定、定款の変更といった重要な事項について審議及び決議する)

6月20日	【第3号議案】令和5年度事業報告及び決算に関する件
	【第4号議案】理事の交代選任に関する件
3月26日	【第5号議案】第二期中長期計画の策定に関する件
	【第6号議案】令和7年度事業計画（案）に関する件
	【第7号議案】令和7年度予算（案）に関する件

・ 評議員選任解任委員会

6月24日 3月26日 開催

・ 社協会費

(社協の活動に賛同いただき、会費納入することにより地域福祉に参加していただく活動)

区分	内容	令和6年度実績	令和5年度実績
一般	1,000円以上/一口	¥588,500	¥1,305,250
賛助	3,000円以上/一口	¥286,000	¥247,000
特別	10,000円以上/一口	¥480,000	¥390,000
合計		¥1,354,500	¥1,942,250

※令和6年度は10月より強化月間予定

■ 寄付活動

(個人や団体からの金銭や物品等の寄付を地域福祉活動に活かす事業)

・ 寄付金

令和6年度実績	¥639,671
令和5年度実績	¥357,900

・ 寄付物品

月日	寄付申出人(敬称略)	物品名
4月4日	平木 定美	電気毛布3個
4月24日	匿名	アンプ
6月17日	匿名	布団乾燥機・カーテン
7月5日	岡 隼	レジャーシート
8月9日	佐園 千種	スーツ生地、花札トランプ他
8月14日	匿名	冷蔵庫
9月11日	匿名	生理用品
9月30日	匿名	電動自転車
10月22日	匿名	掃除機
11月24日	匿名	えんぴつ
12月5日	匿名	トロミ剤
12月4日	匿名	リハビリパンツ
12月12日	平井 豊 (平井商店)	お米30キロ×5
12月20日	匿名	ガスファンヒーター
3月5日	匿名	食材

■ 広報・啓発活動

・ 社協だより

(大山崎町全戸と社協賛助、特別会員に配付 広報戦略会議にて記載内容を検討)

4月123号×7,500部

7月124号×7,500部

10月125号×7,500部

1月126号×7,500部

・ホームページ・LINE

(情報を発信して認知度を高めてもらう広報活動)

LINE登録 305名 (令和4年度240名・令和5年度302名)

ホームページ → 令和6年4月より新規HP移行 広報戦略会議にて、一方通行ではない
参加型を目指し試行錯誤中

・募金百貨店プロジェクト

(店舗「企業」と協力し寄附付き商品の企画・運営)

月 日	企業名	募金額
4月17日	パロンパロン	¥5,431
6月4日	パロンパロン	¥9,620
9月18日	パロンパロン	¥11,485
11月6日	パロンパロン	¥8,322
1月分	パロンパロン	¥6,608
2.3月分	パロンパロン	¥10,096
合計額		¥51,562

■各種委員会

(介護保険・障害福祉サービスの運営規程等で定められている委員会を設置し、コンプライアンスを順守する)

・衛生委員会（感染対策委員会）

(職員の健康障害防止及び事務所の衛生管理について協議し、対策を行う。)

月 日	内容
5月31日	研修計画について
6月27日	事務所内清掃について・職員健康診断について
7月25日	LINEWORKS活用にあたり、業務外の「つながらない権利」について
8月25日	今年度研修・事務所内の換気について
9月26日	大掃除日程調整・職員メンタルヘルスについて・感染研修調整
10月24日	3月大掃除日程アナウンス・通用口整理
11月29日	マスク着用・トイレ消臭・ゴミの収集・職員メンタルヘルスについて
12月26日	肺結核研修（感染予防対策研修）
1月23日	感染症について
2月26日	3月大掃除の確認・産業医依頼進捗状況
3月19日	スメルハラスメントについて・次年度メンバーについて

・虐待防止委員会

(虐待防止のための計画づくり、虐待防止のチェックとモニタリング、虐待（不適な対応事例）発生後の検証と再発防止策の検討する)

法人全体研修会10/4

・苦情解決委員会

(事務局長を苦情解決責任者とし、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることなどにより、円滑・円満な解決の促進や事業者の信頼や適正性の確保を図る)

3/3 第三者2名と苦情受付担当者2名にて開催

■その他の会議等

・法人内事例検討会

(複合的な課題を持つ事例を社協内の多職種で検討することにより、分野を問わない組織的な相談対応力を磨く)

8/28実施 司会：包括 事例提出：ヘルプ 書記：居宅

「療育手帳を持つ息子さんと要支援認定を持つ母への接し方と今後の対応について」

12月 事例提出者体調不良で延期

2/26 司会：総務 事例提出：相談 書記：地域

「障害区分6の全介助の独居利用者の、自宅での生活の限界（今後）について」

・広報戦略会議

(社協だよりの掲載の情報整理と取りまとめ・各号の基本コンセプトの決定HPとの住み分け)

年4回 5/2 7/21 10/22 1/28実施

社協だより 広告欄実施

・中長期作成プロジェクト

(法人の現状を分析し、あるべき姿を考え、目標、指標を検討する)

作成完了

(7月より月1回会議実施)

地域福祉係

1. 事業内容

世代を超えた町の地域福祉向上を担う。

2. 職員体制

係長 1 名、嘱託 1 名、臨時 5 名

3. 6年度目標

- 子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、支えられる人も誰かを支え、役割をもって生きていける社会の仕組みづくりを進める
- 地域や誰かとつながりのある生活ができ、困ったときに助けてとすることができる支援の仕組みづくりを進める

4. 第4四半期までの進捗状況

- 佛教大学社会福祉学科 2 年生の社会福祉援助技術現場実習受け入れを行った。
- 一山小3年生に対して福祉授業（高齢者との交流）を実施。福祉を学ぶ機会を設けた。
- 一・二山合同見守り隊の依頼を受けて、防災シミュレーションゲームを実施。
災害ボランティアセンターを啓発した。
- フードパントリーを開催し、生活困窮者の現状把握を行なった

5. 現状課題

- 生活困窮等により支援を必要とする世帯の実態把握（アウトリーチの必要性）
- スタッフの欠員によるマンパワー不足
- ボランティアや地域活動の担い手不足

6. 今後の取り組み

新たに「新型コロナ貸付特例フォローアップ事業」が始まり、生活困窮者への支援が拡大している。また判断能力が不安定な方に日常金銭管理支援を行う「権利擁護事業」も利用が増えている。一方でいくつかの既存事業で利用減少があるものや、現状維持に留まっている事業もある。今後は限られた人材の中で、社協の強みである様々な専門職がいて、様々な部署があるという強みを活かしながら相乗的に事業を進めていくことが求められる。

■地域福祉事業

(属性を問わず多世代が交流できる住民主体の地域福祉活動を展開する)

・なごみきっちゃん

(子どもを真ん中に多世代交流できる居場所づくり)

日程	活動内容	参加人数	支援者数
5月19日	ミモザサラダ・ハッシュドオニオン	24	6
6月16日	いもち・きんぴら・ズッキーニ草焼き	24	6
9月15日	そうめんちぢみ・空心菜中華炒め・冬瓜煮物	19	4
12月14日	大根餅・サバと水菜煮・さつまいもきんとん	27	4
2月2日	巻きずし・豚汁・水菜のサラダ	27	7

・なごみファーム

(農業を通した多世代交流できる居場所づくり)

週1回農業活動、メンバーによる月1回の定例会で運営
社協事業(なごみきっちゃん・フードパントリー等)への食材提供

・ひとり暮らし高齢者の会（ことぶき会）への支援

(ひとり暮らし高齢者に対する地域の見守り及び生きがいづくり支援)

日程	事業内容	参加者数
8月8日	ことぶき会世話役会	7
9月	民生委員による友愛訪問	164
10月25日	ことぶきっちゃん（一人暮らし高齢者交流事業）	17
12月	民生委員による友愛訪問	165
3月5日	ことぶき会員と民生児童委員との交流会	34

・社会福祉援助技術現場実習受け入れ

(大山崎町の地域福祉活動を学ぶ社会福祉士実習生の受け入れ)

期間：8月5日～9月17日

佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科3年生 1名

期間：2月4日～2月13日

佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科2年生 2名

・くらし助け愛サポーター事業

(共助を目的としたくらし助け合い隊サポーターによる生活支援)

サポーター24名登録、利用者 1名

令和6年度実績（延べ回数）：ごみ出し54件、水やり2件

・地域まつり協力事業

(地域のまつりに出店協力。地域住民とのつながりづくりや共同募金の啓発を目的とする)

月日	名称	出店内容
4月6日	さくらのつどい	わたがし販売・共同募金
6月8日	公サ連まつり	わたがし販売・共同募金
8月26日	円明寺ヶ丘夏祭り	ポップコーン販売・共同募金
10月13日	名月のつどい	わたがし販売・共同募金

・あかりちゃん祭

(大山崎町社協主催の祭。多世代交流や社協やボランティア活動の周知を目的とする)

令和6年10月20日(日) 約500名来場 28ブース出展 12ステージイベント

・きょうと地域福祉活動実践交流会

(京都府内で地域を支える活動をされている団体、活動者の交流・活動発表の場)

令和7年2月2日(日) 八幡市開催 参加協力

■ボランティアセンター事業

(ボランティアの紹介やコーディネート・ボランティア保険の受付・ボランティア養成講座の開催)

・ボランティアセンターの登録状況

種別	女性	男性	計	前年度	単位：人
個人	22	14	36	31	
グループ	314	130	444	445	

・ボランティア連絡協議会加入グループ → 13

・その他連携ボランティアグループ → 9

・ボランティア保険 → 加入者354名 昨年度258名

・ボランティア連絡協議会

(ボランティアセンターに登録をしたボランティア団体からなり、定例会を開催し情報交換を行う)

月日	内 容	参加者
4月3日	新年度役員挨拶	8名
	各団体前年度報告と今年度予定	
	大山崎町ボランティアバンク、京都府助成金について	
	ボランティア学習会の内容	
7月31日	ボランティア学習会振り返り	9名
	大山崎町ボランティアバンク助成金交付について	
	あかりちゃん祭出展について	
	地域活動ハンドブック作成について	
1月22日	あかりちゃん祭・傾聴ボランティア交流会報告	13名
	ボランティアセンター団体登録について	
	ボランティア助成金について	
	次年度ボランティア学習会について	

・夏休み小中学生ボランティア等体験教室

(社協職員と地域の活動者が協働して地域特性を生かしたプログラム実施)

月日	活動内容	団体	参加人数
7月24日	①音楽（トーンチャイムとメロディベル体験） 体験後なごみの郷デいのレクリエーションで発表	子ども達と音楽ボランティアポコの会	16
7月30日	②科学（半田ごて体験） 電波の話・自分だけのラジオ作製	おもちゃ病院	16
7月31日	③ボードゲーム（多世代交流） 大山崎町の課題を住民みんなで解決しよう	一般社団法人 コレカラサポート	24
8月15日	④音楽（お箏とオカリナ体験） 体験後なごみの郷デいのレクリエーションで発表	お箏伝承の会大山崎 オカリナ「すみれ」	7

参加者総勢：73名（参加保護者含む）地域のボランティア講師総勢：15名

・福祉教育

(町内小学校と協力し、福祉体験授業を実施)

月日	活動内容	対象
11月5日	高齢者疑似体験	二山小4年生
11月12日	デイサービス見学 レクリエーション体験	二山小4年生
11月15日	デイサービス見学 レクリエーション体験	二山小4年生
2月5日	高齢者との交流（昔遊び体験・昔の大山崎町について話を聞く）	一山小3年生

■災害ボランティアセンター

(災害発生時、災害ボランティアセンターを開設し支援ニーズの把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行う。また平常時には災害に関する啓発及び訓練活動を実施する。)

・平常時災害啓発事業

月日	活動内容	団体	参加人数
6月23日	自主防災活動講座	第四町内会	20
9月29日	災害ボランティアセンター体験訓練	社協	15
11月16日	防災伝道師養成講座（町主催）	社協	6
3月9日	災害に負けない地域になろう！ 防災シミュレーションゲーム	一山二山小学校区 見守り隊	約30

■生活困窮者支援及び権利擁護事業

・生活福祉資金

(高齢・障がい・低所得者を対象に相談支援と資金貸付、緊急小口・福祉資金・教育支援資金等がある)

申込件数。()内は相談件数

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口			1(1)		(1)				1(1)			(1)	2(4)
福祉資金		(2)			(1)			(1)					(4)
総合支援資金						(1)							(1)
教育支援資金					1(1)		(1)		1(1)				2(3)
合計		(2)	1(1)		1(3)	(1)	(1)	(1)	2(2)			(1)	4(12)
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口		(1)	(1)	(1)			(4)	(1)					(8)
福祉資金			(2)							1(1)			1(3)
総合支援資金	1(2)						(1)						1(3)
教育支援資金	1				(1)		1(2)	(1)		1(1)			3(5)
合計	2(2)	(1)	(3)	(1)	(1)	0	1(7)	(2)	0	2(2)	0	0	5(19)

・特例貸付フォローアップ相談支援事業（新規）

(特例貸付の借受世帯にかかる償還支援および生活支援業務及び地域における生活困窮課題の実態把握)

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	15	15	12	14	18	59	110	126	5	99	122	6	601
訪問	4	2	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	11
来所	0	4	9	22	4	4	1	4	1	29	3	26	107
合計	19	21	21	36	23	63	111	130	7	131	125	32	719
令和5年度	事業が令和5年9月より開始					9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話						1	1	3	1	3		51	60
訪問						7	8	0	0	1		0	16
来所						10	11	3	0	0		6	30
合計						18	20	6	1	4		57	106

*相談内容（延べ複数回答）

R5年度 償還18件、就労38件、傷病15件、介護（看護）2件、債務（滞納・家計）68件、住居その他28件

R6年度 償還70件、就労36件、傷病4件、介護（看護）11件、債務（滞納・家計）107件、住居その他20件

電話の項目に、文書送付及びメール送信を含む

1度も連絡がついていない借受人を優先に電話を行った。上表記載は電話するも不通の方を含まない。

・物価高騰対策緊急生活支援事業

(物価高騰に伴う食糧と生活物資の提供事業および生活状況の実態調査)

対象 特例貸付利用者および支援団体

実施日	利用世帯
11/1 (金)・11/6 (水)	34
12/14 (土)・12/20 (金)	53
1/25 (土)	50
3/16 (日)	57

・フードパントリー

(企業や個人で余剰となった食品を生活に困った人たちに供給する活動)

開催日時	利用世帯
4月21日 (日) 10:00~12:00	18世帯
7月21日 (日) 10:00~12:00	34世帯

・福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)

(判断能力が十分でない方の福祉サービス利用料の支払い等の日常的金銭管理支援事業)

(単位: 人)

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計	昨対率
令和6年度	124	24	9	12	169	115.8%
令和5年度	117	18	0	11	146	

※京都府全体で利用者増、背景として複合的な生活課題を持つ世帯が増)

地域包括支援センター

1. 事業内容

高齢者の総合相談窓口、「総合相談」・「権利擁護」・「介護予防ケアマネジメント」・「ケアマネジャー支援」の業務を行います。地域包括ケアシステム構築のためのネットワーク事業の実施。

2. 職員体制

係長、正職員3名、嘱託2名

3. 6年度目標

- ・大山崎町の75歳以上人口の増加と共に複雑な課題を抱える利用者や家族が増加しており、今後に対応していけるよう研鑽を図り、多職種との連携を図り支援していく。
- ・認知症になっても安心して地域で生活が出来るよう、認知症への理解を深める取り組みを図っていく（認知症サポーター養成研修等）
- ・地域の身近な相談窓口として、民生児童委員をはじめ地域の活動団体や関係機関と連携を図っていく。

4. 第4四半期までの進捗状況

- ・新規相談ケースが増加しており、虐待の疑いケース等も昨年より増加し、地域の事業所や行政と連携を図りながら支援をおこなうことが出来た
- ・毎月勉強会を実施。厚生労働省から出されている高齢者虐待防止の基本の冊子を使って共通認識を図ったり、ケアプラン点検表（介護予防版）を使って適切なケアプランを立てているか等研鑽を図ることが出来た。
- ・毎月の民生児童委員会議に出席し、報告や啓発を図ることが出来た。

5. 現状課題

- ・介護予防ソフトがクラウドでないため、ICT化による業務の効率を図っていく必要がある。
- ・要介護者の受入れ先が限られており、介護予防の委託がなかなか難しい。

6. 今後の取り組み

- ・まだまだ地域包括支援センターの業務内容が周知されていないので、各種会議やイベント等を通じて周知していく。
- ・新規利用者や家族の相談が増加すると共に個ではなく、家庭全体の支援が増加していく事が予測される。今後も勉強会や研修を通して研鑽を積んでいく。
- ・介護FESTAを通じて介護保険のことや認知症のことを啓発していく。
- ・認知症サポーター養成研修をおこなう

■総合相談のべ件数（４月～３月）

高齢者の相談を全般的に担う事業。土曜日は交代制で対応。

（単位：件）

令和6年度	電話	訪問	来所	その他	合計
本人・家族	3,002	1,167	280	127	4,576
関係機関ほか	2,413	296	161	878	3,748
計	5,415	1,463	441	1,005	8,324
令和5年度	電話	訪問	来所	その他	合計
本人・家族	2,445	970	245	105	3,765
関係機関ほか	1,713	158	89	594	2,554
計	4,158	1,128	334	699	6,319

■相談内容（４月～３月）

相談内容としては、介護保険に関する相談が一番多く、権利擁護及び成年後見に関する相談も年々増加である。原因は不明だが９月に虐待の疑いの相談が集中して発生した。

相談内容	令和6年度	令和5年度
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	7,377	5,574
権利擁護に関すること	369	120
（うち、虐待に関すること）	257	91
地域支援事業に関すること（健康体操倶楽部関係）	155	131
介護支援専門員支援	75	46
健康相談	34	57
その他	314	391
合計（のべ件数）	8,324	6,319

■予防給付ケアマネジメント

（４月～３月・要支援者認定の介護支援計画作成）

◆包括担当（単位：件）

令和6年度	新規	継続	計
4月	5	106	111
5月	6	107	113
6月	11	112	123
7月	2	117	119
8月	3	114	117
9月	4	113	117
10月	3	113	116
11月	2	114	116
12月	3	109	112
1月	4	109	113
2月	6	111	117
3月	7	116	123
令和5年度	新規	継続	計
4月	1	89	90
5月	0	89	89
6月	1	91	92
7月	2	88	90
8月	2	87	89
9月	3	88	91
10月	3	91	94
11月	7	91	98
12月	1	96	97
1月	1	95	96
2月	13	95	108
3月	4	104	108

◆委託（単位：件）

令和6年度	新規	継続	計
4月	2	26	28
5月	0	28	28
6月	1	28	29
7月	3	28	31
8月	0	30	30
9月	3	27	30
10月	0	29	29
11月	1	30	31
12月	3	30	33
1月	1	33	34
2月	3	32	35
3月	0	31	31
令和5年度	新規	継続	計
4月	3	27	30
5月	1	30	31
6月	0	24	24
7月	1	26	27
8月	1	25	26
9月	2	26	28
10月	1	26	27
11月	0	26	26
12月	1	25	26
1月	1	24	25
2月	0	26	26
3月	2	25	27

■介護予防体操事業「健康体操倶楽部～和逢～」

(運動機能向上、認知症予防、閉じこもり予防、要介護状態への進行予防、社会交流を目的に週1回

短時間の集団運動指導を行う。) 講師：京都済生会病院・理学療法士

令和6年度	実施回数	登録人員	のべ人員	男性登録	女性登録	介護保険移行	5年度のべ	定員25名
4月	3	24	61	7	17	0		
5月	3	24	62	7	17	1		
6月	3	24	64	7	17	0		
7月	3	24	57	7	17	0		
8月	3	24	52	7	17	0		
9月	3	25	65	7	18	1		
10月	3	24	55	6	18	1		
11月	3	22	51	5	17	1		
12月	3	23	61	6	17	0		
1月	3	25	58	7	18	0		
2月	3	25	56	7	18	0		
3月	3	25	63	7	18	0		
合計	36	289	705	80	209	4	655	

■ネットワーク事業

(乙訓圏域及び町内の関係機関連携会議等)

ネットワーク名	内容	開催頻度
介護支援専門委員会	包括主催の町内居宅事業所、行政との連絡会	12回/年
乙訓地域包括ケアシステム交流会	地域包括ケアシステム構築を目的とした医療・福祉・保健のネットワーク交流会 乙訓圏域ネットワーク	3回/年
在宅療養手帳委員会	乙訓圏域の医療・福祉保健連携ツールネットワーク	6回/年
乙訓地域包括ケアシンポジウム実行委員会	乙訓圏域を対象とした啓発シンポジウムネットワーク	12回/年
町民協定例会	町主催の民生児童委員連絡会とのネットワーク	12回/年
町包括運営協議会	町主催の地域支援センターの運営会議・事業計画、報告、予算管理、決算報告等実施	2回/年
町・包括定例連絡会	町と地域包括支援センターによる毎月の定例会	12回/年
京都府地域包括支援センター連絡協議会 乙訓グループ	2市1町8包括の連絡会	2回/年
地域密着型特養 洛和ヴィラ天王山運営推進会議	地域密着型特別養護老人ホームの運営会議	6回/年
洛和グループホーム天王山・大山崎運営推進会議	町内2件のグループホーム運営会議	6回/年
地域リハビリテーション乙訓地域連絡会	乙訓地域内の医療・保健・福祉分野の機関が集まりリハビリ事業の推進に関する会議	1回/年
乙訓地域認知症疾患医療連携協議会	認知症サポート医、行政、各市町の地域包括支援センターが集まり取り組みについて	1回/年

■介護FESTA2024への参加協力

(大山崎町内の介護支援専門員や事業所から実行委員を選出し、実行委員形式で開催する介護FESTA

への協力参加) → 令和6年11月24日 福祉センターなごみの郷で開催

■生活支援コーディネーター設置事業

(高齢者や家族が地域で暮らしやすい環境を実現するために地域での課題を解決し、支えあう体制作りを進める事業)

・プロジェクト0

(住民・福祉医療専門職やその他企業等と共に地域課題について協議の場。町独自の地域づくりにつながる事業の取組・発展について話・創出していく)

日時	場所	協議内容	令和6年度実績		令和5年度 実績合計	
			住民	専門職・行政		
4月25日	なごみの郷	ベンチの設置場所の選定とベンチの設置方法について	5	5		
5月23日	なごみの郷	ベンチのチラシデザインについて、阪急バス廃線について	4	6		
6月27日	なごみの郷	ベンチのチラシ案について、阪急バス廃線について	6	5		
7月25日	なごみの郷	詐欺の電話が多い件について、ベンチチラシデザインについて、ご近所付き合いについて	4	4		
8月22日	なごみの郷	チラシデザインの決定、葛原サ地域のサロンについて	3	4		
9月26日	なごみの郷	ベンチ設置場所、メンテナンスについて、葛原のサロンについて	4	6		
10月24日	なごみの郷	ベンチロゴについて、葛原サロン立ち上げに向けて	3	6		
11月28日	なごみの郷	ラブリーにベンチチラシ掲示報告、葛原サロンボランティアについて	1	4		
12月	なごみの郷	参加者のご都合が合わず中止	0	0		
1月	なごみの郷	「みんなのベンチプロジェクト」「新たなサロン立ち上げについて」	0	4		
2月	なごみの郷	「来年度の取り組み」「新たなサロンの立ち上げについて」	1	5		
3月	なごみの郷	「Kスポーツ視察」	8	2		
合計		令和6年度総合計	9	39	51	103

・助け愛隊養成講座(新規対象) サポーターフォローアップ講座(修了者対象)の2段階実施

日時	場所	内容	令和6年度 参加者数	令和5年度 実績合計
2月7日	なごみの郷	助け愛隊サポーター養成講座	10	81
2月28日	なごみの郷	助け愛隊サポーター養成講座	12	
3月3日	なごみの郷	助け愛隊サポーターフォローアップ講座	21	
3月10日	なごみの郷	助け愛隊サポーターフォローアップ講座	15	
3月17日	なごみの郷	助け愛隊サポーターフォローアップ講座	13	

うち新規5名

■コミュニティカフェ推進事業

・いきいきサロンの運営支援

(ボランティア団体により、レクリエーションやおしゃべり等の交流を通じたサロン活動の実施運営)

開催日	場所	協力団体	内容	令和6年度	5年度合計
4月3日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	2	
4月9日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	腹話術	18	
5月1日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	2	
5月9日	洛和ヴィラ天王山	陽だまり	ミュージックケア	5	
6月5日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	4	
6月11日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	ミュージックケア	11	
6月20日	洛和ヴィラ天王山	民協高齢部	防犯落語	14	
7月3日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	2	
7月10日	洛和ヴィラ天王山	陽だまり	大正琴	17	
7月18日	円明寺が丘自治会館	民協高齢部	防犯落語	24	
8月7日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	3	
8月20日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	乙訓たけのこほりほり体操	5	
9月4日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	3	
9月12日	洛和ヴィラ天王山	陽だまり	ミュージックケア	24	
9月24日	円明寺が丘自治会館	音し懐かしい歌を楽しむ会	昔し懐かしい歌を楽しむ	36	
10月2日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	3	
10月8日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	ハーモニカ演奏	16	
10月17日	洛和ヴィラ天王山	民協高齢部	健康体操	17	
11月6日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	2	
11月21日	円明寺が丘自治会館	民協高齢部	健康体操	19	
12月4日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	3	
12月5日	洛和ヴィラ天王山	彩花	彩花オリジナルフラワーアレンジメント	16	
12月10日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	フレイル予防出前講座	11	
12月11日	洛和ヴィラ大山崎	ひまわり	大正琴	9	
1月9日	洛和ヴィラ天王山	陽だまり	ミュージックケア	2	
1月15日	洛和ヴィラ天王山	和来隊	脳活性化ゲーム	11	
2月5日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	2	
2月18日	円明寺が丘自治会館	ひまわり	ミュージックケア	6	
3月5日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	1	
3月6日	洛和ヴィラ天王山	彩花	網かごで楽しむ多肉植物	14	
3月18日	円明寺が丘自治会館	音し懐かしい歌を楽しむ会	昔し懐かしい歌を楽しむ	26	
合計				266	275

・いきいきサロン連絡会

(いきいきサロン実施協力団体との情報共有および意見交換を目的に実施)

開催日	場所	内容	令和6年度
9月30日	なごみの郷	運営・内容に関する意見交換、下半期の活動・事業費のご案内	3団体3名
3月28日	公民館実習室	運営・内容に関する意見交換、来年度の活動・事業費のご案内	3団体3名、役場1名、社協1名

・いきいきサロンバスツアー

(日帰り旅行で楽しみながら散歩、会話、買物をする事でフレイルを予防し在宅生活維持へと繋げる)

開催日	協力団体	行き先	令和6年度	令和5年度
5月31日	彩花	大津館イングリッシュガーデン、道の駅びわ湖大橋米プラザ	18	18

■認知症等事業

(認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり)

・認知症サポーター養成講座

(認知症という病気の理解と認知症の人や家族にやさしい地域づくりの為の講座を開催)

月日	対象	令和6年度	令和5年度
7月20日	大山崎町町民向け	10	
2月21日	大山崎町町民向け	29	
	合計	39	74

・わが家

(初期認知症の方の居場所づくり 毎月第4月曜日開催)

月日	地域	内 容	令和6年度	令和5年度
4月22日	円明寺	中止(主催者都合)	0	
5月27日	円明寺	折り紙	8	
6月24日	円明寺	ヴォイストレーニング	8	
7月22日	円明寺	フレイル予防体操・嚥下体操	7	
8月26日	円明寺	折り紙でコスモス作り	8	
9月23日	円明寺	三線「かりゆし」の演奏会	10	
10月28日	円明寺	フレイル予防体操・嚥下体操	7	
11月25日	円明寺	折り紙でクリスマスリース作り	10	
12月23日	円明寺	アコーディオン演奏でクリスマスを歌おう	11	
1月27日	円明寺	フレイル予防体操	6	
2月24日	円明寺	中止(祝日)	0	
3月24日	円明寺	折り紙で鯉のぼり作り	10	
	合計		85	84

・ふらっと遊力フェ

(初期認知症の方の居場所づくり 毎月第2火曜日開催)

月日	地域	内 容	令和6年度	5年度合計
4月9日	鏡田	今後の参加者の予定を話し合う	4	
5月14日	鏡田	瓦窯跡公園でのアコーディオン演奏と歌	6	
6月11日	鏡田	いきいき健康体操とアコーディオン演奏と歌	4	
7月9日	鏡田	天王山登山の話とアコーディオン演奏と歌	6	
8月6日	鏡田	健康体操と1か月の出来事の話とアコーディオン演奏と歌	4	
9月10日	鏡田	地域の認知症の方の話(仏教大学の学生さんを囲んで)歌	3	
10月8日	鏡田	フレイル予防体操、地域の不審者と認知症者の情報・歌	4	
11月12日	鏡田	地域の認知症の方の話・アコーディオン演奏で歌	5	
12月10日	鏡田	ヒヤリンググループの話・アコーディオン演奏で歌	5	
1月21日	鏡田	流感の話(コロナ・インフル) アコーディオン演奏で歌	5	
2月18日	鏡田	地域の認知症患者の話・アコーディオン演奏で歌	5	
3月18日	鏡田	今後の「ふらっと遊」の在り方・アコーディオン演奏で歌	2	
	合計		53	46

・介護者の会

(介護の悩み、不安を持っている方のエンパワメントグループ 毎月第2金曜日開催)

月日	地域	内 容	令和6年度	5年度合計
4月12日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	5	
5月10日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	3	
6月14日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	4	
7月12日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	3	
8月9日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	4	
9月13日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	3	
10月11日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	4	
11月8日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	3	
12月13日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	4	
1月10日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	5	
2月14日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	5	
3月14日	なごみの郷	一か月の出来事を話し合う	3	
合計			46	51

・大山崎町オレンジわんわんパトロール

(ペットの飼い主さんに認サポ養成講座を受講、登録した後、散歩時の見守り活動を協力していただく)

月日	登録	令和6年度	令和5年度
		0	
	合計	0	14

・キャラバンメイト養成研修

(認知症サポーター講座の講師養成資格講座)

今年度受講なし

・世界アルツハイマー月間展示ブース

大山崎町役場1階ロビーで上記事業の啓発物品、町の認知症対策事業を展示

令和6年9月9日～20日実施

・京都市市町村認知症施策連絡会

第1回目 令和6年11月27日 京都府医師会館

第2回目 令和7年3月17日 京都府医師会館(病欠)

・カフェ連絡会

令和7年3月28日(木) 役場2階

・オレンジロードつなげ隊

令和7年2月8日 長岡京記念文化会館にてマリーゴールドの種と啓発物品を配付、ブース設営

上記の為の会議：第一回目 令和6年6月12日(水) 第二回目 令和6年10月22日(火)

令和6年2月分マリーゴールド種植え：令和6年6月4日(火) 苗植え：令和6年7月16日(火)

オレンジロードつなげ隊合同研修：令和6年7月25日(木) 医師会館

ケアプランセンター

1. 事業内容

要介護認定（一部要支援認定）を持つ高齢者の介護サービス計画を作成し、利用サービスの調整を行う。

2. 職員体制

センター長 1 名、正職 2 名、嘱託 1 名

3. 6年度目標

- 正職員標準担当件数35以上の維持（ICTの活用により効率化、早急な対応を目指す）
- 法改正に伴いさらに求められるケアマネジメント力、地域とのつながりを強化する（居宅会議内での勉強会の充実、他部署多職種との連携）
- 介護相談対応力の向上（同行訪問・長年担当しているケースの交代）

4. 第4四半期までの進捗状況

新規は1月9件、2月4件、3月3件受け入れ、正職員標準担当件数35以上の維持はなんとかできたが、年度末集計としては令和5年度よりやや下回った。なかなかサービスにつながらないケースも多いため、今後も積極的に新規を受け入れると同時に丁寧に関わっていきたい。定期的にケアプランを点検することも定着し、各ケアマネジャーが専門用語の使用は避け、わかりやすく具体的な内容のケアプランになっていることを実感している。3月には居宅会議内で「適切なケアマネジメント手法」についての伝達講習を実施した。研修で行った演習を再現し、各ケアマネジャーのスキルアップをはかった。3月にケアマネ実習生の受け入れも行った。ケアマネジャーの仕事に興味を持ってくれる人が増えることを願っている。

5. 現状課題

- 正職員標準担当件数35以上の維持はギリギリの状態
- 勉強会の内容の見直し（高齢者以外の対象者への支援に関する知識など）
- 地域とのつながりの強化

6. 今後の取り組み

・ 件数が減ることも見込んで、積極的に新規を受け入れる。効率化をはかるために、モニタリング訪問時にパソコンを持参したり、連絡手段としてラインワークスも活用すると同時に、丁寧な関わりも続ける。町外の病院などへも機会があるたびに新規受け入れのアピールをする。

・ 障がい制度や難病についてなど、幅広い知識を得られるよう居宅会議内の勉強会の内容を工夫する。また、BCPについての理解も深める。

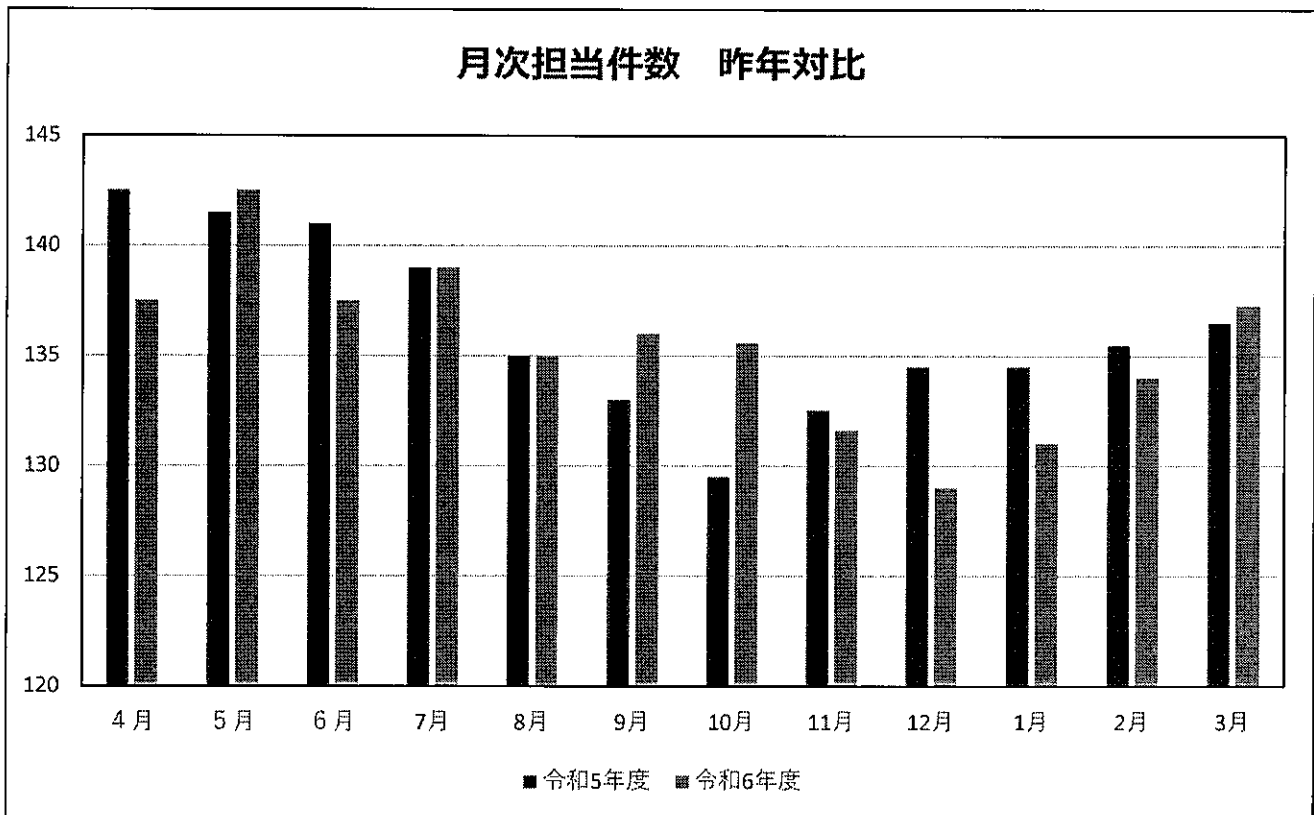
・ 地域とのつながりはなかなか持ちにくい部署ではあるが、機会があるごとに地域の集まりにも参加してケアプランセンターをアピールし、地域にケアマネジャーの存在を身近に感じてもらう。地域の集まりに参加しやすいのも社協の強みだと思うので、その強みを活かしたい。

令和6年度 月次担当件数

出所：ほのぼのNEXT 担当ケアマネ毎利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	137.5	142.5	137.5	139	135	136	135.6	131.6	129	131	134	137.3	1626	99.4
令和5年度	142.5	141.5	141	139	135	133	129.5	132.5	134.5	134.5	135.5	136.5	1,635	

※令和5年度からは要支援者予防給付数を含む(1/2換算) 6年度1/3換算



デイサービスセンター

1. 事業内容

要介護認定を持ち、在宅で生活されている高齢者に通所していただき、入浴、食事、社会交流の機会の援助を行なう。

2. 職員体制

センター長 1 名、正職 2 名、嘱託 3 名、臨時 17 名

3. 6年度目標

- 1日利用者平均 27 名、安定収支を目指す。
- 個別機能訓練、入浴、食事、施設内外のレクリエーション、制作・作業、季節のイベントなど一日型の強みを活かした、一人ひとりが尊厳と幸せを感じられるデイサービスづくり。
- デイサービス内部及び外部の研修受講、研修実施また資格取得を推奨した各職員のスキルアップを図る。

4. 第4四半期までの進捗状況

本年度の事業運営においては、新規利用者は 24 名、そのうち同年度に利用終了となった方は 8 名、8 名の内訳は本人からの申し出が 3 名、施設入所が 2 名、ご逝去が 3 名であり、新規からの定着利用は 2/3 であった。しかし昨年度以前より利用の長期利用者で利用頻度が高い方の施設入所およびご逝去が多く発生し、1 日あたりの平均利用者数は 21.3 名となり、昨年度の 23.8 名と比較すると 2.5 名の大幅な減少となりました。この結果、収支面においても顕著な収入減という厳しい状況を招くこととなりました。

一方で、従前より社会福祉協議会のデイサービスとして重要な使命と位置づけている、重度要介護者の積極的な受け入れに関しましては、要介護度 5 の利用者様の延べ利用者回数は過去最高を記録しました。このように、新規利用者の増加と重度利用者の受け入れ実績は向上したものの、平均利用日数の減少が全体の収支に大きな影響を与えた一年となりました。今後の運営においては、この点を踏まえ、より効率的なサービス提供と利用者数の維持・向上策を検討していく必要性を強く感じております。

5. 現状課題

- 「業績改善計画」の実行による登録者増
- 利用者の入れ替わりへの対策（長年利用されていた利用者の終了等）
- 多様なニーズへの対応

6. 今後の取り組み

現状の課題を踏まえ、令和 7 年度より新たな体制へと移行し、「デイサービスなごみの郷」ならではの特色を職員一同が共有し、一体となって取り組んでおります。これまでも強みとしてきた個別機能訓練においては、機能訓練指導員のユニフォームを一新し、専門性をより明確に打ち出すとともに、利用者様一人ひとりに寄り添った質の高い訓練を提供しております。また新たな職員や経験豊富な職員の加入により、「デイサービスなごみの郷」の特色を前面に打ち出し、登録者数の増加と延べ利用者数週 210 名を目標に邁進してまいります。

令和6年度 月次延利用者数 出所：ほのぼのNEXT利用者数

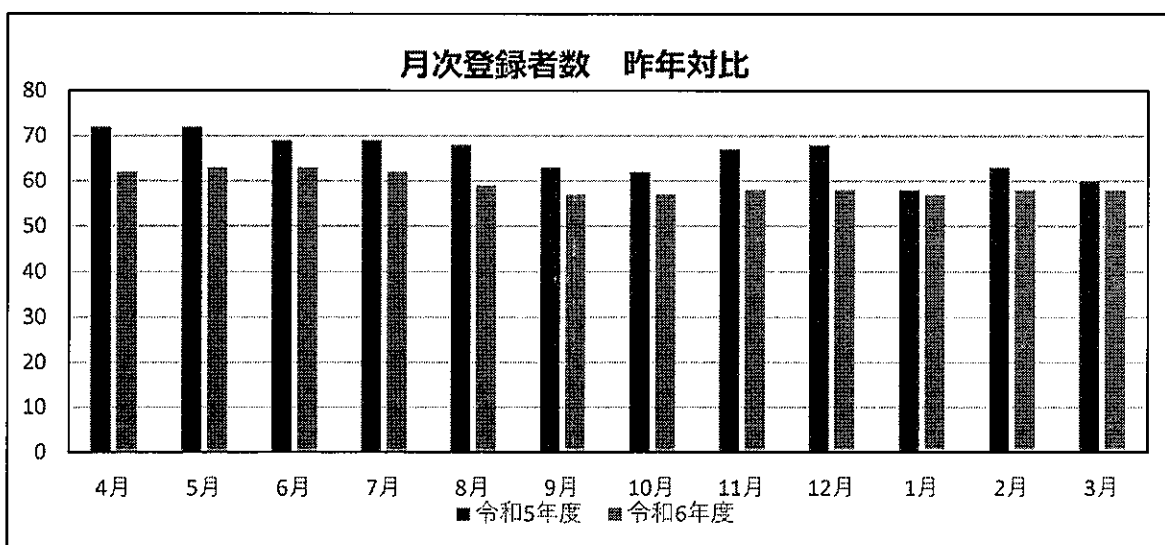
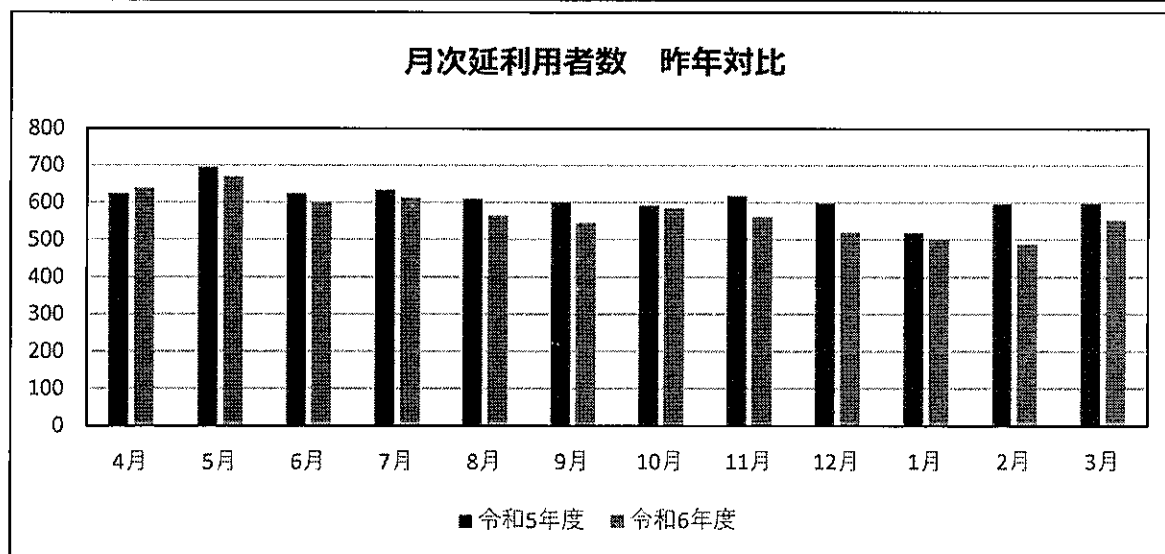
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	639	670	601	614	566	546	585	562	521	501	490	553	6848	93.64
令和5年度	624	696	624	634	611	601	592	618	599	519	597	598	7313	

令和6年度 月次登録者数 出所：ほのぼのNEXT利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	62	63	63	62	59	57	57	58	58	57	58	58	712	90.01
令和5年度	72	72	69	69	68	63	62	67	68	58	63	60	791	

令和6年度 利用者平均要介護度 出所：ほのぼのNEXT利用状況統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	2.0	2.3	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	2.4	2.6	2.4	2.4	2.4	2.3
女	2.4	2.4	2.3	2.4	2.3	2.1	2.2	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.3
平均	2.2	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.2	2.1	2.2	2.3



ホームヘルプセンター

1. 事業内容

要介護認定をお持ちの高齢者及び障がいのある方（身体・知的・精神）のお宅に訪問し、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う。

2. 職員体制

センター長 1 名、嘱託 2 名、臨時 17 名

3. 6年度目標

- 自立支援や重度化防止に重点を置き、身体介護（共同実践含）の提供を全体の 70%以上を維持する
- サービス提供責任者の定期研修会を開催し、人材育成、人材マネジメントのスキル向上を図る
- 訪問介護員の個別研修を行い、介護技術、接遇の向上を強化する

4. 第4四半期までの進捗状況

1～3月の新規受付数は12件、利用終了は9件で3か月で3ケース増となった。年間を通しては新規受付総数が52、利用終了が35、年間で17ケース増、介護保険ケースの実利用者数は82名となった。障がい部門ではヘルパー利用者10名、移動支援利用者は12名、合計22名となっており、介護保険・障がいの総数は104名と過去最高の利用者数となった。新たに始めた「自費サービス」においても利用者が増えており、地域の方の様々なニーズに応える事業展開ができている。

5. 現状課題

■ 今現在はターミナルの方が少ないため朝と夕方の時間帯に、サ責が事務所に滞在する時間が確保できているが、身体介護の依頼がいつきても対応できるように生活援助の利用者は昼間の時間帯にさせていただくよう常に調整を行っている。

6. 今後の取り組み

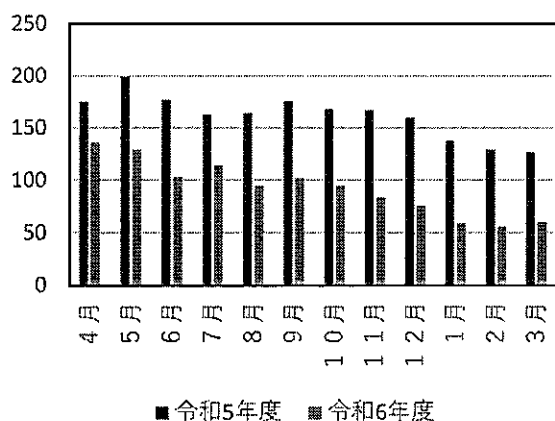
全国的に介護事業の倒産が増え、中でも訪問介護の事業撤退が多い中、本会の訪問介護事業は堅調な実績となっている。今後はこの運営状況を継続しながら、ヘルパーの高齢化を解決していくために人材発掘および育成を行っていくことが課題となる。令和7年度は新規採用の強化と既存職員の技術及び意識向上を行うことで、これらの課題に対応していきたい。

令和6年度 事業運営状況

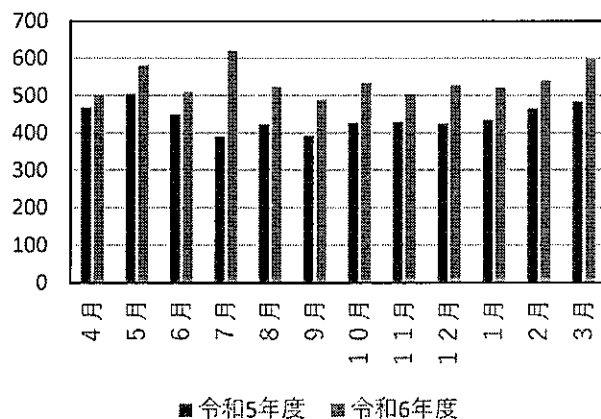
介護保険事業 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	介保利用者(人)	71	72	75	74	75	72	75	73	77	76	81	82	903	110.0
	介護(人)	51	52	54	54	54	53	52	53	55	55	58	60	651	102.8
	要支援(人)	20	20	21	20	21	19	23	20	22	21	23	22	252	134.0
	身体介護(回)	325	415	343	412	321	279	303	279	299	302	308	350	3,936	110.7
	生活援助(回)	136	129	103	114	95	102	95	84	76	59	56	60	1,109	57.1
	身体→生活(回)	176	166	166	209	203	210	231	225	229	219	232	248	2,514	140.7
	要支援(回)	82	93	91	88	84	81	97	81	94	93	93	105	1,082	142.6
	合計(回)	719	803	703	823	703	672	726	669	698	673	689	763	8,641	107.4
令和5年度	介保利用者(人)	66	69	63	64	65	66	73	73	70	69	72	71	821	
	介護(人)	52	56	51	51	51	50	55	55	55	54	53	50	633	
	要支援(人)	14	13	12	13	14	16	18	18	15	15	19	21	188	
	身体介護(回)	310	313	307	326	274	276	284	274	273	286	319	315	3,557	
	生活援助(回)	175	199	177	163	164	176	168	167	160	138	129	127	1,943	
	身体→生活(回)	157	191	142	127	121	137	142	155	152	148	146	169	1,787	
	要支援(回)	62	60	54	53	61	74	78	81	61	56	57	62	759	
	合計(回)	704	763	680	669	620	663	672	677	646	628	651	673	8,046	

生活援助利用回数 昨年対比表



身体・身生合計利用回数 昨年対比表



障がい者総合支援法事業 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	自立支援給付利用者	7	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10	10	109	121.1
	移動支援利用者	8	8	8	10	8	7	11	10	11	11	11	12	115	155.4
	居宅介護(回)	22	25	24	22	32	35	42	37	44	39	35	40	397	135.5
	行動援護(回)	4	4	3	4	3	4	3	4	2	4	3	3	41	124.2
	移動支援(回)	14	14	14	13	13	16	23	21	22	20	27	36	233	179.2
令和5年度	自立支援給付利用者	7	7	7	8	7	7	8	8	7	8	8	8	90	
	移動支援利用者	4	4	4	6	5	7	7	7	6	7	8	9	74	
	居宅介護(回)	21	23	22	27	24	24	26	26	26	24	23	27	293	
	行動援護(回)	2	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	33	
	移動支援(回)	10	9	8	11	9	12	11	12	10	11	12	15	130	

相談支援事業所

1. 事業内容

障がいのある人が安心して地域で生活できるよう、必要な情報提供や相談支援活動を行う。障がいのある方（身体・知的・精神）の障がいサービス計画を作成する。

2. 職員体制

センター長（局長兼務）、嘱託1名、臨時1名

3. 6年度目標

- 毎月の計画相談請求数22以上を目安とした経営
- 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定で求められる医療等の他機関連携を強化し、相談力の向上を図る。
- 乙訓圏域自立支援協議会との連携強化

4. 第4四半期までの進捗状況

令和6年度の計画相談担当数は年間合計232、月間平均換算19.3、前年比116%であったが、目標の月間平均換算22には到達することができなかった。結果、資金収支において91万円の赤字決算となった。その他ピアサポーター事業や交流企画は順調に実施することができ、満足で楽しかったとの意見が多く聞かれた。一方で総数項目において精神障害の方からの相談や計画担当割合が多くなっており、比例して対応に回数と時間を要する状況となっている。

5. 現状課題

- 赤字の解消
- 時間を要するケースの負担解消。
- 職員体制の強化

6. 今後の取り組み

これまで嘱託職員1名、臨時職員1名の体制であったが、令和7年度からは嘱託員2名の体制で営業を行っていく。人件費は上昇するが、総労働時間が体制上増えるので、計画相談担当数を昨年度と同程度の伸び率を維持して月間平均担当数22をクリアしていきたい。また精神障がいの方への対応も傾聴を基本にしつつも、利用者にある一定のルールに基づいた相談枠構造の明示等を行っていき、時間負担の軽減を図っていく予定である。

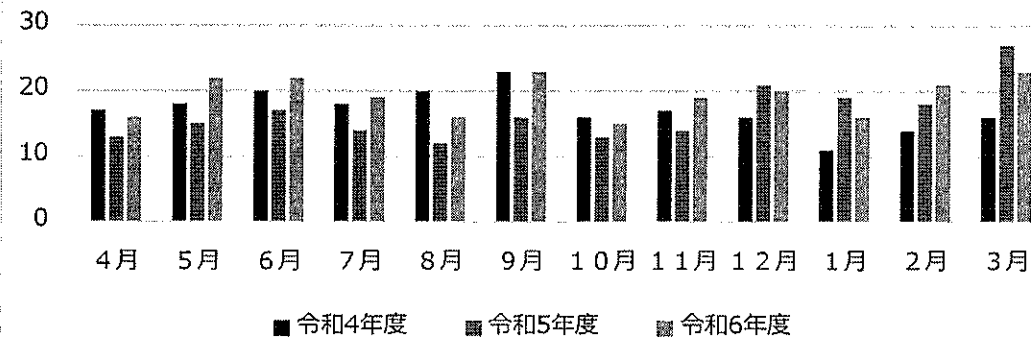
令和6年度 計画相談運営状況 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和6年度	町内	15	21	21	17	16	22	14	18	20	15	20	21	220	120.9
	町外	1	1	1	2	0	1	1	1	0	1	1	2	12	70.6
	合計	16	22	22	19	16	23	15	19	20	16	21	23	232	116.6
令和5年度	町内	12	13	16	12	10	15	11	14	20	18	16	25	182	
	町外	1	2	1	2	2	1	2		1	1	2	2	17	
	合計	13	15	17	14	12	16	13	14	21	19	18	27	199	

令和5年度3月末現在契約件数…47件

令和6年度9月末登録件数…51件

特定計画相談運営状況



障害別利用状況

実人数は相談継続実数、内訳値は障害重複あるため実数値より大。

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年計	昨対率
実人員	41	41	44	49	35	40	39	37	34	37	38	41	476	388	122.7
身体障害	11	13	14	19	11	12	12	10	14	13	12	11	152	119	127.7
重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
知的障害	12	14	16	16	11	18	19	18	14	15	13	21	187	159	117.6
精神障害	24	21	23	19	18	18	16	18	15	15	20	17	224	197	113.7
発達障害	3	2	2	1	3	4	3	3	2	3	2	2	30	39	76.9
高次能	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	8.3
その他(難病)	2	3	3	6	3	1	1	1	1	2	1	1	25	21	119.0
月毎合計	52	53	58	62	46	53	51	50	46	48	48	52	619	554	111.7

支援方法

(単位：件)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援	関係機関	その他	計
4～3月	242	134	25	679	59	37	170	12	1358
前年合計	154	105	22	499	17	35	172	3	1007
昨対率	157.1	127.6	113.6	136.1	347.1	105.7	98.8	400.0	134.9

支援内容

(単位：件)

	サービスの利用	障害状況の理解	健康	不安解消	保育	家族関係	家計	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	計
4～3月	913	746	595	918	32	447	131	451	394	176	20	700	5523
前年合計	758	404	290	625	20	286	211	321	225	100	43	254	3418
昨対率	120.4	184.7	205.2	146.9	160.0	156.3	62.1	140.5	175.1	176.0	46.5	275.6	161.6

その他

■職員外部研修

研修名	日程	場所	部署	人数
生活福祉資金貸付事業担当職員研修	3日間	ハートピア	総務	1
介護支援専門員行動規範	4月25日	オンライン	総務	1
福祉サービス利用援助事業専門員新任研修	2日間	オンライン 京都府立総合社会福祉会館	地域	1
生活福祉資金貸付事業担当職員基礎研修	4月24日	ハートピア	総務	1
	5月8日			
	5月21日			
企業内人権啓発推進員研修会	5月24日	京都デルサ	総務	1
生活支援体制整備事業つてなに？	6月7日	オンライン	包括	1
生活支援コーディネーター養成オンライン研修	6月8日	オンライン	包括	1
特例貸付フォローアップ温かか京都寄り添いワーカー研修	6月10日	オンライン	総務	1
京都府ホームヘルパー連絡協議会 総会・第1回研修会	6月12日	ハートピア京都	ヘルプ	1
社会福祉協議会基本要綱フォーラム	6月18日	岡山きらめきプラザ	総務	1
生活支援コーディネーター養成オンライン研修	6月18日	オンライン	包括	1
京都府介護支援専門員 企画研修「運営基準に沿った居宅介護支援の実務」	6月21日	オンライン	居宅	1
コミュニティーコーピング 公式体験会	6月23日	キャンパスプラザ	地域	1
全国社協職員のつどい	6月29日	ひとまち交流館	総務	1
			デイ	1
			地域	1
若年性認知症	7月2日	乙訓保健所	ヘルプ	1
			包括	1
			居宅	1
生活支援コーディネーター初任者研修	7月4日	京都府庁	包括	1
京都府障害者虐待防止・権利擁護研修	7月8日	ハートピア京都	相談	1
介護サービス導入について家族と医療従事者との認識に解離	7月8日	済生会病院	居宅	1
適切なケアマネジメント手法を学ぼう	7月12日	オンライン	居宅	1
特例貸付フォローアップ 温かか京都寄り添いワーカー研修	7月22日	オンライン	地域	4
腹膜透析勉強会	7月21日	京都桂病院	包括	1
京都府市町村社協役員職員セミナー	7月24日	総合福祉会館	総務	1
在宅療養手帳 新人職員向け記載研修会	7月24日	オンライン	居宅	1
地域との大学生・若者がともに輝くコーディネーション	7月24日	オンライン	デイ	1
オレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員合同研修	7月25日	医師会館	包括	1
会話力要約セミナー	7月30日	ハートピア京都	地域	1
			居宅	1
			デイ	1
働き続けたいと思える職場作り方セミナー	8月19日	ハートピア京都	デイ	1
第2回企業内人権啓発推進員研修会・京都府企業内人権問題啓発セミナー	8月20日	京都デルサ	管理者	1
パーキンソン病における精神症状とそのケアについて	8月20日	オンライン	包括	1
企業内人権啓発推進員研修会・京都府企業内人権問題啓発	8月20日	京都デルサ	総務	1
生活困窮者自立支援制度シンポジウム	8月21日	京都デルサ	総務	2
「不登校とひきこもりについてみんなで考える」つながる、広がる、乙訓サークル	8月22日	長岡京パンピオ	地域	1
京都府強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	8月23日	京都デルサ	ヘルプ	2
事例検討について学ぼう	8月24日	京都JA会館	総務	1
リハビリ従事者ポジショニング研修	9月7日	京都デルサ	地域	1
社協職員オンラインサロン 災害と福祉	9月11日	オンライン	地域	1
LINEWORKSDAY 2 4	9月18日	梅田サウスホール	総務	2
認知症基本法	9月25日	オンライン	総務	1
精神障がいのある方の支援に関わる基礎知識と対応	10月3日	乙訓保健所	相談	1
難病患者支援従事者研修会	10月11日	乙訓保健所	包括	1
メンタルヘルス&アンガーマネジメント研修	10月11日	ハートピア京都	地域	1
職場のハラスメント 防止研修	10月18日	オンライン	包括	1
			総務	1
傾聴力セミナー	10月23日	ハートピア京都	デイ	1
京都府ひきこもり支援対策強化研修	10月30日	ザンガススタジアム	包括	1
地域包括・在宅介護支援センター リーダー研修	10月30日	オンライン	包括	1
乙訓包括ケアシステム推進交流会 個人防護服脱着研修会	10月31日	済生会病院	包括	1
「ムリ・ムダ・ムラ」をなくす業務改善の第一歩	11月8日	ハートピア京都	デイ	1
京都府視覚障害者社会教育指導者研修会	11月12日	長岡京市中央生涯学習センター	居宅	1
社協職員オンラインサロン 地域担当と連携した共同募金の活用	11月13日	オンライン	地域	1
福祉職員研修リーダー研修	11月14日	ハートピア京都	ヘルプ	1
			総務	1
結核研修	11月18日	乙訓保健所	包括	1
京都府視覚障害者社会教育指導者研修	11月12日	長岡京市中央生涯学習センター	居宅	1
近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会	11月19日	大阪国際交流センター	包括	1
パーソンセンタードケア研修	11月20日	オンライン	デイ	1
在宅療養手帳委員会 記載研修会	11月27日	乙訓医師会	包括	1
			居宅	1
介護支援専門員の手話講座	12月5日	オンライン	総務	1
介護支援専門員実務経験者更新研修	4日間	オンデマンドオンライン	居宅	1
高齢者虐待！その時、私たち介護支援専門員はどう動く？	12月11日	オンライン	総務	1
			居宅	1
富士フイルムbridge for innovation	12月18日	京都商工会議所	総務	2
京都府老人福祉施設等職員研修 認知症の周辺症状を学ぶ	12月20日	オンライン	包括	1
ミュージックケア初級研修コース	1月12日～ 3月23日	コラボネット京都	デイ	1